

広報

ただみ

5

2017 月号

No. 564
平成29年5月10日



今月の表紙

今月の表紙は、4月30日に行われた消防春季検閲式の中の「婦人消防隊の通常点検」です。

婦人消防隊は、女性消防班の長谷部千晶団員による指揮のもと規律ある動作を行い、検閲官である菅家町長の通常点検を受けました。

一糸乱れぬ動作を披露した婦人消防隊の点検が完了すると、会場からは大きな拍手が送られ、婦人消防隊を称えました。

(関連ページ6ページ)

<特集>

新生「只見振興センター」開館……………2～3

町内の各学校で入学式……………4～5

《News&flash》

消防春季検閲式 ほか……………6～7

《町の話》

超小型モビリティ

米焼酎「ねっか」お披露目 ほか…8～11

新しい地域づくりの拠点として

新生「只見振興センター」開館



▲テープカット後に開館した只見振興センター

昨年6月から新築工事を行っていた只見振興センターが4月23日、ついに開館いたしました。

開館にともない当日はオープニングセレモニーを開催し、関係者や地域住民など約300名が訪れ、完成を祝いました。

今月号はこの完成した只見振興センターについてご紹介いたします。

◆開館までの背景

只見地区センター（現・只見振興センター）が設置されていた只見総合開発センターは、昭和46年に地域の拠点施設として建設されましたが、平成20年に実施した耐震診断により耐震性が低いことが判明し、費用対効果の面から補強ではなく解体することになりました。さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災により建物にダメージを受け、同年5月に活動拠点を旧只見中学校へ移していました。

その後、いくつかの検討を

経て、多くの町民の要望によ

り平成25年10月に、役場庁舎とは別築で新築することが決まり、決定後は「只見振興センター建設検討委員会」が発足。建設までに10回の協議を重ね意見を集約し、今回の完成に至りました。

◆施設の目的

只見振興センターは、住民と行政が協働する住みよい町づくりを目的に、地域の学びの場や地域づくりの拠点施設として整備されました。

◆町産材を建設資材に使用

建物の建設資材として町産材を有効活用するために、町

内の林業等に従事されている

方々の組織する団体に伐採から一定の大きさへの製材（ラミナ材）を委託し、この町内産のラミナ材を貼りあわせた木材（集成材）を柱などに使用しております。

また内・外装材についても、町内産の杉材を用途にあった加工を施して使用しており、ユネスコエコパークの理念にそった、あたたかみのある木造施設としております。

◆オープニングセレモニー

開館当日に行われたオープニングセレモニーでは、菅家町長が「地域づくりの拠点と



▲キッチンのある1階交流スペース



▲(外観写真)只見総合開発センターと同じ場所に開館した只見振興センター



▲イベント時に広く使える1階学習室①



▲広々とした1階和室



▲集会室で行われた只見音楽研究会による新築記念公演



《Voice》

只見振興センター建設
検討委員会
委員長 酒井正吉郎さん

施設の特徴は、材料から職人まで地元産であること。目に見えないところまで町産材を使っており、玄関には多目的スペースも設置した。様々な活用をしていただきたい。



《Voice》

只見地区地域づくり
委員会
会長 五十嵐 辰男さん

地域づくりの拠点として多くの方に利用していただきたい。ウキウキわいわいフェスタなども新しいセンターで開催することになるので盛り上げていきたい。

《概要》

項目	内 容	
敷地面積	3,373.57㎡	
建築面積	本棟 792.01㎡	設備棟：70.38㎡
延床面積	本棟：999.55㎡	設備棟：70.38㎡
そ の 他	最高の高さ：11.7m	

《施設内容》

階	施設名	室面積 (㎡)	収容人員	備 考
1	事務室	52.09	9	応接用机 1台 応接椅子5脚
	和 室	68.34	72	座卓兼用テーブル2台 椅子12脚 座卓24台
	学習室①	68.29	45	テーブル15台 椅子 45脚
	集会室	191.10	210	テーブル49台 椅子210脚
	交流スペース	95.69	18	テーブル 4台 椅子 18脚
	舞 台	49.14	—	
2	学習室②	68.34	54	テーブル18台 椅子 54脚
	調理室	68.29	24	テーブル 4台 椅子 24脚
	図書コーナー	30.54	6	椅子6脚

☎ 0241(82)2141

— お問合せ先 —
只見振興センター

今後、只見振興センターは地域住民の学びの場や地域づくりの場、そして災害時の防災拠点としての活用が期待されます。

そして多くの方に活用してもらいたい」と挨拶し、齋藤議長が「ユネスコエコパークの理念に沿った施設が完成した」と祝辞を述べられました。そして、施設の完成に大きく貢献いただいた、「只見振興センター建設検討委員会」を代表して委員長の酒井正吉郎さんに、町長から感謝状が贈られました。その後只見音楽研究会による演奏とともにテーブルカットが行われ、オープンを彩りました。

セレモニー後、施設の内覧会や新築記念公演会、もちの振る舞いが行われ、多くの地域住民が集まり笑顔を見せていました。

町内の各学校で入学式



▲(写真/只見中学校)これから授業で使用
する教科書が校長先生から手渡されました

4月、町内の小・中・高等学校で入学式が行われ、平成29年度は町内3小学校で21名、只見中学校で28名、只見高等学校で46名の児童・生徒が新たに学校生活をスタートしました。

入学式では、新入生が凛々しい姿で入場し、先生方や在校生・保護者の方々などに拍手で迎えられ、式の中で校長先生から入学が許可されました。

そして新入生の誓いの言葉では、学校生活での目標など決意を表しました。

今年度入学された各学校の皆さまを写真で紹介いたします。



只見小学校

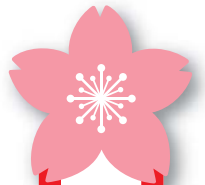
新入児童 5名
全校児童 54名



朝日小学校

新入児童 5名
全校児童 57名





明和小学校

新入児童 11名
全校児童 67名



只見中学校

新入生 28名
全校生 89名



只見高等学校

新入生46名(内、留学生19名)
全校生 120名



「消防春季検閲式」を開催

4月30日、只見中学校駐車場を会場に「平成29年度消防春季検閲式」が行われ、消防団員、婦人消防隊あわせて約200名が参加しました。

検閲式では、執行委員長である目黒邦友消防団長より指揮者が各々任命され、検閲官である菅家町長の検閲宣言により通常点検や機械器具点検、小隊訓練が行われました。団員は日頃の訓練の成果を発揮し、規律ある動作を披露しました。また、検閲式の中で各種表彰が行われ、団員の長年の功績が称えられました。



▲消防団員の通常点検を行う検閲官



▲機械器具点検を行う団員

《指揮者》

- ・総指揮者（副団長） 星 正春
- ・徒歩部隊（分団長） 柳林 一弥
- ・ポンプ隊（分団長） 渡部 文彦
- ・婦人消防隊（団員） 長谷部千晶

《各種表彰（代表者名）》

- 福島県消防協会南会津支部表彰
- ・功績章Ⅱ 4名（滝沢和晴さん）
- ・優良章Ⅱ 14名（新国伸一さん）
- ・勤続章Ⅱ 20名（渡部成男さん）
- 只見町消防団長表彰
- ・優良章Ⅱ 41名（黒田晶子さん）
- ・精績章Ⅱ 28名（大竹信一さん）
- ・功績章Ⅱ 11名（佐藤隆一さん）

「只見町野生動植物保護監視員」委嘱状交付式を開催

4月25日、町役場において「只見町野生動植物保護監視員」の委嘱状交付式が行われ、保護監視員や只見町ブナセンター、町などから15名が出席しました。

只見町は平成26年6月にユネスコエコパークに登録となり、自然環境と生物多様性の保護・保全を図りつつ天然資源の持続可能な利活用を通じた地域社会の発展を目指す地域づくりを推進しています。その中で今回の保護監視員は、町内の動植物の不当な採取に対して注意喚起や指導、啓発活動な



▲身分証明書やキャップ、腕章を身につけ活動を行っていく保護監視員の皆さん

どが行えるよう、昨年6月24日に施行された「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき設置しました。委嘱される方々は、只見町公認自然ガイドなどや自然に関わりのある方々から13名が選ばれ、野生動植物の保護・保全のために町と協力し活動していきます。

委嘱状交付式で菅家町長は「只見の素晴らしい自然を残していくために、自然を理解している皆さんに協力をお願いしたい」と挨拶し、一人ひとりに委嘱状を手渡しました。

保護監視員の任期は平成29年4月25日から平成30年3月31日までとなり、野生動植物の保護・保全のために活動を行っていきます。

只見町野生動植物保護監視員

(※敬称略)

- | | |
|---------|---------|
| ①古川 勝久 | ②鈴木 章一 |
| ③鈴木 サナエ | ④渡部 和子 |
| ⑤佐藤 弘 | ⑥鈴木 嘉津雄 |
| ⑦目黒 良樹 | ⑧長谷部 忠夫 |
| ⑨角田 朋之 | ⑩目黒 大四郎 |
| ⑪黒田 晶子 | ⑫佐藤 克彦 |
| ⑬斎藤 政信 | |

内堀県知事が来町

町関係者との「意見交換会」開催

4月21日、内堀雅雄福島県知事が来町され、森林の分校ふざわで菅家町長や齋藤議長など町関係者と意見交換を行いました。

会の中で菅家町長は、JR只見線全線復旧に向けた県の取組みについての御礼と、只見ユネスコエコパークを核とした町づくりの状況報告を行いました。内堀知事は「只見線はインバウンドとして売り込み、海外から観光客呼び込みみたい」と只見線全線復旧後の活用が重要などと意見を述べられました。

また、同施設スタッフから歓迎を受けた内堀知事は、懇談会後の昼食会で地元料理を味わい、地元の方々と交流を深めました。



▲森林の分校ふざわを訪問された内堀知事

平成29年度の町の事業を報告

区長連絡協議会総会と町政報告会

4月25日、季の郷湯ら里で区長連絡協議会と町政報告会が行われ、町から各区長の皆様へ今年度の事業や連絡事項などについて報告を行いました。

町政報告会で菅家町長は「町長に就任して約4カ月が経過した。これから被害の復興から町発展に町政を方向転換していく時期。一緒に町づくりへ協力をお願いしたい」と挨拶し、新たに就任した橋本副町長を紹介しました。

その後、担当課長から今年度の事業について説明を行い、事業に対する質問など活発な意見交換が行われました。



▲約50名が出席した町政報告会

滞納の無い町を目指して

只見町納税貯蓄組合連合会総会

4月14日、朝日振興センターで「平成29年度只見町納税貯蓄組合連合会総会」が開かれ、各地区の組合長が出席しました。

総会では栗木豊会長から「納税組合は地域のコミュニティーを図る重要な役割がある」と挨拶があり、その後概ね10年にわたり組合長を務めた十島納税貯蓄組合長の菅家芳雄さんが永年組合長として表彰され、栗木会長から表彰状などが手渡されました。菅家さんは「今後も町の発展に努めていきたい」と謝辞を述べられました。

総会では、今年度の計画などを確認し、完納を目指して各地区の組合活動がスタートしました。



▲栗木会長から賞状を受ける菅家芳雄さん

「番列車」を歓迎

「リバティ会津」乗入れ記念式典

4月21日、南会津町の会津田島駅と東京都の浅草駅を直通運転する東武鉄道「特急リバティ会津」が運行開始となり、会津田島駅で記念式典が行われました。

首都圏から満員の観光客などを乗せた一番列車が会津田島駅のホームに到着すると、歓迎のために待ち受けた多くの関係者や子どもたちが小旗を振って出迎えました。

会津田島駅の駐車場で行われた記念式典では、内堀知事などが挨拶し、誘客効果や利便性向上に期待すると述べられました。また、一番列車の乗客を地酒やそばやきもち、太鼓演奏などによりもてなしました。



▲多くの関係者やゆるキャラが参加した記念式典

町内の農業や観光に活用

超小型モビリティお披露目

東北運輸局より町内での走行が認められた、環境に優しい電気自動車「超小型モビリティ」の導入を受け4月17日、季の郷湯ら里を会場に導入した3台のお披露目式が開かれました。

お披露目式では、主催者である只見町超小型モビリティ導入推進協議会の三瓶清志会長が「超小型モビリティは、只見ユネスコエコパークの理念に沿った環境保全と活用に役立つ」と挨拶され、日産自動車(株)よりゴールデンキーの贈呈を受けました。その後菅家町長と協議会メンバーが運転し、超小型モビリティ3台の走行が披露されました。

2人乗りの超小型モビリティは只見町の方言でかわいいの意味と英語を掛けた「me-go(めご)」と名付けられ、3台の内2台は協議会メンバーの農家が使い、電動草刈り機を接続して充電に利用するなど電動化による農作業の効率化を推進し、また会津大学と共同で草取りロボットの実証実験も行っています。残り1台は協議会メンバーである只見町観光まちづくり協会により、観光客の移動手段やイベントなどでの活用を想定しています。



▲来場者約100名に披露された超小型モビリティ愛称「me-go(めご)」

原材料オール只見産のこだわり米焼酎 「ねっか」販売開始！！



▲挨拶をする「合同会社ねっか」の皆さん

只見産米と町内の水を使ったご当地米焼酎「ねっか」が4月17日に発売開始となりました。町内の農家でつくる「合同会社ねっか」は、30～50代の農家5人で昨年7月に発足。米の付加価値を上げ、雇用創出と田畑を守る好循環を作り地域の活性化につなげようと焼酎づくりを企画し、特産品を原料にすることなどを条件にした国税庁の「特産品しょうちゅう製造免許」を今年1月24日に県内で初めて取得。空き家を利用した蒸留所で米焼酎の製造を開始し、2千本を初出荷しました。焼酎は只見産米を100%使用し、フルーティーな香りとすっきりした飲み口が特徴となっています。



▲発売になった米焼酎ねっかを手にする脇坂代表

同日、季の郷湯ら里で行われたお披露目会には、関係者など約100名が参加し、菅家町長は「米焼酎ねっかを多くの人に飲んでもらいたい」と話し、同社の脇坂齊弘代表は「米も水もパッケージもオール只見産で造った米焼酎。役員一同おいしい焼酎づくりに励んでいく」と挨拶されました。

自衛官募集相談員

中野大徳さん(叶津)が就任

4月24日、町役場において「自衛官募集相談員委嘱式」が行われ、中野大徳さんが就任されました。

委嘱式では、菅家町長と自衛隊福島地方協力本部の須賀川進副本部長により委嘱状が中野さんへ手渡され、菅家町長は「只見町の情報を発信して行って下さい」と挨拶し、須賀川副本部長は「自衛官希望者の数が減っている。只見町の情報をお願いしたい」と話されました。

中野さんの任期は、平成29年4月1日から2年間で自衛隊への募集活動や自衛官希望者の情報提供などを行ってまいります。



▲委嘱状を手にする中野さん(中)

山村教育留学生 第16期生

対面式で夢や目標を発表

4月10日、教育委員会(旧只見中)で山村教育留学生第16期生と町関係者との対面式が行われました。今年度は増設した奥会津学習センターの完成による受入拡張により、過去最高の19名が留学生となりました。

対面式では齋藤教育長が「何度倒れても立ち上がる会津の起き上がり子法師のようになってください」と挨拶し、留学生の自己紹介では「将来介護福祉士になって只見町で働きたい」、「昨年留学生だった先輩が只見町職員になった。私も目指したい」など将来只見町で働きたいという抱負が聞かれました。



▲対面式で夢や目標を発表した山村教育留学生19名

消防団活動の理解を深める

明和小学校で消防団活動を学ぶ

4月24日、明和小学校4年生の授業において、「火事からくらしを守る」をテーマにした社会科学習が行われ、小林地区の消防団員4名が講師として訪れました。

授業では、消防団から活動内容や消防署との違い、火災現場での対応などについて説明があり、その後生徒たちと一緒に放水体験や消防車両の見学を行いました。今回の授業をとおり、4年生10名全員からは「将来消防団に入りたい」などとの感想が聞かれ、消防団活動の理解を深めました。



▲放水体験を行う児童と消防団の皆さん

平成29年度 子ども読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰 「只見町読書活動ボランティア」が受彰！

4月23日、文部科学省などが主催する「平成29年度子どもの読書活動推進フォーラム」が東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれ、只見町読書活動ボランティアが「子ども読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰」を受けました。この表彰は、子どもが読書意欲を高める活動に対し、優れた実践を行っている学校・図書館・団体（個人）を文部科学大臣が表彰しているものです。本年度の団体表彰は全国49団体で、福島県からは只見町読書活動ボランティアが唯一選ばれました。

表彰を受けた只見町読書活動ボランティアの皆さんは、4月25日に菅家町長を訪れ、「長年にわたり地道に活動した成果であり、諸先輩方に感謝します」と喜びを報告しました。町長は「ここからがスタートであり、今後も頑張ってもらいたい」と祝辞を述べました。



▲菅家町長（右）へ報告した只見町読書活動ボランティアの大山ミツコさん（中）鈴木サナエさん（中右）菅家成美さん（中左）齋藤教育長（左）

ブナセンター長、只見ユネスコエコパーク推進専門監の委嘱 新体制で只見ユネスコエコパークを推進



▲委嘱を受けた新国勇さん（中左）と鈴木和次郎さん（中右）、委嘱した菅家町長（左）と橋本副町長（右）

4月、只見ユネスコエコパークを推進するためのブナセンター長に新国勇さん、只見ユネスコエコパーク推進専門監に鈴木和次郎さんが就任されました。

ブナセンター長は、只見ユネスコエコパークの推進組織である只見町ブナセンターの包括的な管理運営、監督を行うとともに「ただみ・ブナと川のミュージアム」や「ふるさと館田子倉」の展示等に学術的な指導、助言を行います。只見ユネスコエコパーク推進専門監は、ユネスコエコパーク推進のため町への提案・助言などを行います。

任期は平成30年3月31日までで、只見ユネスコエコパーク推進のために活動していきます。

只見町小川地区 「小川いきいきサロン」10年目の開講

4月23日、今年でサロン開所10周年を迎えた「小川いきいきサロン」が小川集会施設で開催され、地域住民約60名が参加しました。

サロンでは最初に開所式が行われ、関係者や地域住民とともに10周年を祝い、その後健康維持を目的とした体操やバイキング形式の昼食会などが行われ、参加者は仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。

今後サロンは月1回開催し、住民とともに様々な行事に取り組んでいきます。



▲バイキング形式の昼食を楽しむ参加者の皆さん

華麗な舞を披露！

第16回春待ちチャリティ演芸会

4月9日、季の郷湯ら里で「春待ちチャリティ演芸会」が開かれ、約160名が来場しました。

演芸会の冒頭、事務局の赤塚ミワさんから演芸会の収益金129,495円を菅家町長へ「社会福祉などに役立てて下さい」と手渡され、受け取った菅家町長は「これまで100万を超える金額を町に寄付され、感謝申し上げます」と述べました。

その後、町内外から参加した愛好者による36演目が披露され、その華麗な踊りに会場からは大きな拍手が送られました。



▲会場を埋め尽くす来場者の前で、華麗に舞う角田春さん

新しいお友達が入所しました

町内各保育所で入所式



▲(写真/明和保育所)一緒に歌って踊る児童の皆さん

4月5日、町内の各保育所で新しい入所児童を迎え入所式が行われました。

明和保育所の入所式では、さくら組、ひまわり組、たんぽぽ組、つくし組の入所児童全員の紹介が行われ、名前を呼ばれた児童は元気に返事をしていました。入所式終了後には職員による演劇が披露され、児童たちは楽しい時間を過ごしました。

今年度の児童数は、只見保育所31名、朝日保育所30名、明和保育所34名となっています。

新たな社会福祉施設の建設始まる

「グループホームこまどり荘」地鎮祭

只見町長浜地区に建設する障がい者向けグループホームの地鎮祭が4月17日に行われました。グループホームの建設及び運営は、南会津町の社会福祉法人南陽会が行い、施設の名称を「グループホームこまどり荘」とする予定です。今年10月に開所の予定で、定員は7名となります。

地鎮祭には約20名が出席し、星太治南陽会理事長がくわ入れを行い、玉串をささげ、工事の安全を祈願しました。



▲くわ入れを行う星太治理事長

4月から新しい看護師さんが着任しました!

4月1日から7月31日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の小檜山美穂さんです。小檜山さんはスポーツが得意で、学生時代はバレーボールを中心に活動し、現在も休日にはバレーボールやバスケットボール、スノーボードなどを楽しんでいます。只見町は「～けやれ」などの方言がとても温かいと感じ、多くの患者さんと話をしたいそうです。「診療所に来たら広報ただみ見たよと声をかけて欲しい」と話す小檜山さんをどうぞ宜しくお願いいたします。



小檜山 美穂さん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師

ねもと
根元

かえ
加恵



「皆様はじめまして」

皆様、初めまして。今年の4月から1年間という短い期間ではありますが、朝日診療所で勤務することになりました、根元加恵と申します。所属は福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座の後期研修医という立場です。まだまだ修行中の身ではありますが、只見の皆様のお役に立てるよう、日々励みたいと思います。

出身は千葉県船橋市で、大学は山梨大学を卒業いたしました。医師として働き始めてからは、地元の千葉県に戻り、3年間働きました。昨年度は地元の船橋で家庭医の後期研修医として働いておりましたが、ご縁があり只見町へ赴任させていただくこととなりました。千葉で勤務していた診療所は、都会の中の診療所だったので、近隣に中規模病院や大学病院、開業の先生など多くの医療機関がある環境の中で働いておりました。ですから、診る患者さんの疾患に偏りがあつたように思います。

しかし、只見では町で唯一の有床診療所であり、ど

んな疾患でも幅広く診てマネジメントする能力が求められます。只見に来てからの日は浅く、船橋とは展開される医療も異なっていて、慣れないことも多いですが、徐々に只見での生活に慣れて、只見の良さをたくさん発見したいです。赴任から現在までの短い期間に診療する中で特に感じるのは、只見弁の難しさです。患者さんと信頼関係を築くためにも、まずは只見弁を少しずつ理解できるようになりたいと思っています。そして、幅広い対応ができるようにしっかりと学び、家庭医として、地域の患者さんに寄り添うことのできる医師に成長したいと思います。

最後に蛇足ですが、私の趣味は卓球です。中学1年から卓球部に所属して練習して来ました。昨年度は院内に卓球のサークルがあり、仕事に余裕のあるときは月に数回ではありますが、練習していました。只見でも卓球のサークルがあると聞いておりますので、もし参加できるときはよろしく願いいたします。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.30

けいた
渡辺 啓太



「初めての只見」

はじめまして、今年の1月に只見町公営塾の講師として赴任しました渡辺啓太です。

私が只見町に来た時は、ちょうど「最強寒波」が到来していたので、猛吹雪と一面の銀世界に大きな驚きを覚えました。長靴を履いて職場までの道を歩くと自然の厳しさを感じると同時に、人間は自然の中で生かしてもらっているのだと深く思いました。

さて、2月から公営塾『心志塾』が本格的にスタートして、毎日のように生徒が来塾してくれています。猛

吹雪の中でも塾に来て勉強している生徒たちを見ると、「自分自身も気をひきしめていこう!」と思うと同時に、生徒たちが自分の望む進路に進んでほしいと強く思いました。

ある生徒に塾に来る理由を聞いた時に「塾に来ると勉強する気になる」「わからない所をその場で教えてもらえる」と言っていました。勉強する空間があれば自主的に学ぶようになる生徒も多いので、ぜひ一度心志塾に足を運んでもらえたら嬉しいです。

町史

とっておきの話

274

飯塚 恒夫

いま残しておきたい只見とっておきの話 ①

―只見でマトンが食べられるようになった理由(その二)―

▼この連載でもっとも執筆されている飯塚恒夫さんの登場です。▼飯塚さんは、町文化協会長、町文化財調査委員長、会津只見史談会長など、年齢をまったく感じさせない活動をされています。▼今回から6回連載で、今まで知られていなかった只見のとっておきの話をご紹介します。



▲明和家畜保健衛生所(小林・昭和25年)

只見町で肉焼きといえばマトンというほど町民に好まれ、只見の名物となっています。マトンを食べることは、ジンギスカンとも言います。戸外からジンギスカンの煙が立ち上る風景は、只見の夏の風物詩にもなっています。

ジンギスカンが町じゅうに広まったのは、只見川電源開発がきっかけだったという話があります。全国から集まったダム建設の労働者に力をつけさせようと、値段の安いマトンを食べさせたというものです。しかし、これはすこし出来過ぎた話のような気がしています。

この疑問に答えてくれたのは、福島市在住の河嶋悟郎氏でした。只見町の人々がマトンを食べるようになった貴重なお話を聞くことができたので、紹介したいと思います。

河嶋氏は昭和二十二年、福島県の獣医師として採用後、同二十五年、旧明和村の小林に新設された明和家畜保健衛生所の初代所長を務められました。そこでは只見村から檜枝岐村までの八か村を管轄し、家畜の疾病予防、飼育管理、経営の指導を行っていました。河嶋氏は、当時の西部地域の貧しい農業の現状を目の当たりにして、そこから将来に向けた農産物を一歩でも踏み出させようと考えました。そこで所長時代に『畜産を發展させるために―南会津西部地方において―』を出版します。

この本のなかで、河嶋氏は、西部地域の農民の蛋白質や脂肪の低い摂取実態を指摘し、「豚肉・羊肉の自家用屠殺による共同消費、簡易加工、貯蔵」



▲南会津西部家畜保健衛生所所長時代の河嶋悟郎氏

を提案しています。しかし、この頃は、緬羊(ヒツジ)を食べることはあっても、煮て食べるのが主でした。そのため、おいが強く、油分も多い緬羊の肉は敬遠されていたのです。

昭和二十七年ころ、福島市万世町に緬羊会館の直営店があり、マトンを焼いて出していました。それを食べた河嶋氏は、「これだ!」と思い、さっそくジンギスカン鍋を売っている店から一〇個を自費で購入し、只見に持ち帰り役場や農協に配って、焼いて食べることを教えたのです。しかしながら、緬羊を食べるには、食べ方を変えるだけでなく、簡単に処分できる環境の整備

が必要でした。当時、屠殺するには、田島保健所から屠殺検査員が出張し、現場で家畜の状態を確認してから許可をもらわなければなりません。許可後は、只見字新町にあった簡易屠殺場で処分することになっていたので、これでは冬季などの対応に手間がかかるので、県から河嶋氏に屠殺検査員の併任辞令が出されました。それからは、西部地域の緬羊、山羊、豚を処分するには、河嶋氏が交付する切迫屠殺の診断書で済むようになり、また、河嶋氏の赴任当時の西部全域の家畜頭数は、馬八六〇頭、牛三六〇頭、緬羊一、二八九頭、山羊(ヤギ)四六一頭でした。それが、馬から牛への転換と、緬羊や山羊の飼育頭数を増やすという行政指導によって、昭和三十年には、馬五八六頭、牛一、〇九一頭、緬羊二、六九九頭、山羊五四〇頭となりました。緬羊を処分して食べる環境が次第にできあがってきたのです。



町民文芸

只見短歌会

三月詠草

大塚栄一

指導

師と友の篤き情に導かれ三十五年も歌詠みて来し

古川 英子

離れ住む娘は秋の日に戻りわが手届かぬ掃除手伝ふ

馬場 八智

裸木に雪降りかかり凍り付き見渡すかぎり花咲きしごと

渡部ゆき子

雪道を帽子のみ見せゆっくりと行く人のあり雪降りつものる

小倉キミ子

残雪のまだ多き下梅の芽の散らばり空しうそ啄みし

関谷登美子

飼猫の死にて三年後残りある一匹の名を二階にて呼ぶ

新国由紀子

転任に去り行く人は玄関に黙礼しつつ鍵を確かむ

目黒 富子

過ぎゆきし同期の友との再会は四十数年経てど変はらず

渡部ヨリ子

ショートステイに入所の我を介護士ら代るがはるに労はりくるる

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

四月例会

目黒十一

指導

指折りて三才なのといひいなの日
万才や公民館に春来たる

敦子

ウキウキと荷を解き香る沈丁花
節分やピーナツ選ぶ鬼面の子

味代子

啼泣の待つ間長かり初音聞く
精氣得て鯉の回遊諸葛菜

吉児

花満開世に戦など無き如く
新らしき傘にかすかや春の雨

弘子

種芋の転びて己が位置を知り
此の星の片隅広し春を踏む

さちを

山桜空にとけゆく花見山
観音の全身春の日の中に

恒夫

わが庵はなにごともなく桜咲き
廢屋にスイセン咲きたり秩父の里

信

山を出で月赤々と西行忌
にぎやかな声搦き立ての草の餅

礼

待ち切れず両手に零れひなあられ
ひな人形遅く仕舞へと父の顔

都

年度越え抱えし仕事花の雨
春灯の同じページの読書かな

修一

シャボン玉一番白い君のシャツ
まねっこす子等口に指初音聞く

洋子

彼岸日や母の好みしなっとう餅
待春や曾孫旗揚ぐ六地藏

一穂

今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎ 82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎ 82-5220
町民生活課	
税務係	☎ 82-5110
町民係	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健係	☎ 84-7005
福祉係	☎ 84-7010
農林振興課	
農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課	
観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備係	☎ 82-5270
生活環境係	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

5月25日までに
納めましょう

- 軽自動車税(全期)
- 農集排使用料(5月分)

試験

平成30年度
只見町職員(大学卒程度)
採用候補者試験を行います

試験職種及び採用予定人員

- ・ 行政職 若干名
 - ・ 土木職 若干名
 - ・ 建築職 若干名
- 受験資格(学歴不問)
昭和57年4月2日から
平成8年4月1日までに
生まれた者

試験の方法

▽第1次試験
教養試験および専門試験
▽第2次試験(1次試験合格者)
小論文、面接による試験

第1次試験の日時、場所

▽日時 7月23日(日)
午前9時受付〜午後4時50分

場所

福島大学(福島市金谷川一番地)

発表

役場掲示板に合格者番号を掲示する他、本人に通知します。

採用

合格者は採用候補者名簿に登録され成績順に町長が採用者を決定する。(この合格の有効期間は1年間です)

● 受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求
申込用紙は役場総務課および朝日、明和振興センターで交付します。

▽申込方法

申込用紙は役場総務課に提出してください。
※郵送による場合は返信用封筒を同封すること。

▽受付期間

5月25日から6月23日まで
※郵送による場合は、6月21日までの消印のあるものに限ります。

※一般行政職・高校卒程度の募集について、7月上旬を予定

しております。

● 問合せ先

▽只見町役場 総務課
☎ 0241(82)5210
(内線214)

お知らせ

自動車をお持ちの皆様へ 自動車税の納期限について

平成29年度自動車税の納期限は5月31日(水)です。お送りする納税通知書により、最寄りの金融機関、コンビニエンスストア又はクレジットカードで納期限までに納付してください。

● コンビニ・クレジットカード納付のお知らせ

自動車税はコンビニエンスストアや、M・M・K(マルチメディアキオスク)端末設置店舗でも納めることができます。納付可能な店舗は、下郷町に3店舗、只見町に2店舗、南会津町に6店舗

あります。また、平成28年度から、パソコンやスマートフォン
の専用画面を利用してクレジットカードにより納付ができません。ただし、クレジットカードによる納付の場合は納税証明書は送付されませんのでご注意ください。また、支払い手続が完了してから、県で納付の確認ができるまでに時間がかかりますので、車検が間近な方は、金融機関等で納付してください。

● 身体障がい者等のための減免制度のお知らせ

県では、身体等に障がいのある方のために使用される自動車
で一定の要件に該当するもの
(※)については、納税義務者の申請により自動車税を減免して
います。平成29年3月31日(金)
までに身体障がい者手帳等の交
付を受け減免の要件に該当され

る方は、関係書類を整えた上で、
納期限(平成29年5月31日)まで
に地方振興局県税部に申請して
ください。納期限を過ぎると、全
額を減免することはできません
のでご注意ください。なお、平成
29年4月以後に手帳の交付を受
け減免の要件に該当する場合
は、申請日に応じて月割により
減免されます。

※減免の対象となる自動車は、
4月1日午前0時現在の車検
証に記載されている所有者
(所有権留保の自動車につい
ては使用者)が障がい者ご本
人である必要があります。(18
歳未満の身体障がい者、知的
障がい者及び精神障がい者を
除く)。

● 問合せ先

▽福島県南会津地方
振興局県税部
☎ 0241(62)5212

お気軽にご相談ください！
「福島さわやか
行政相談キャンペーン」

総務省では、只見町を担当する行政相談委員として、渡部あき子さんを4月1日より委嘱しております。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事を始め、年金事務所などの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

また、5月1日(月)～31日(水)までの1カ月間は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

▼只見町の行政相談委員



渡部 あき子さん
只見町大字福井字久保田204-2
☎84-2252

地域おこし協力隊
新たな仲間が加わりました

4月より町の教育振興を推進する為に、新たに1名の地域おこし協力隊が「奥会津・只見教育振興協力隊」として加わりました。主な業務は公営塾運営などを担当し、町の教育委員会の勤務となります。

奥会津・只見教育振興協力隊はこれで4名体制となり、只見町山村教育留学制度や公営塾のサポートを行っていきます。

みねざし つとむ
峯岸 努さん(45歳)

出身地/神奈川県横浜市
大学/横浜国立大学教育学部
大学院 教育人間科学部
前職/東京大学教育学部付属
中等教育学校
情報技術科教諭



《メッセージ》
あまり自慢できる若さではありませんが、周囲にも励まされ大転職しました。
じわじわしみ込むように只見町に慣れていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

町長スケジュール
(4月分)

- 3日 町職員辞令交付式、定例庁議
町内駐在所員着任挨拶、町小中学校教職員着任挨拶
- 4日 特別功労者 故菅家作弥氏告別式
- 5日 南会津建設事務所長来庁
- 6日 明和小学校入学式、只見中学校入学式
- 7日 南会津警察署長来庁
- 9日 春待ちチャリティ演芸会
- 10日 只見高等学校入学式、山村教育留学生対面式
- 11日 鳥獣被害対策実施隊・有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式
町教育関係者懇親会
- 12日 只見町議会4月会議
- 13日 栃木ニコン社長表敬訪問(大田原市)
- 14日 郡山自衛隊第6特科連隊第3大隊大隊長来庁
只見町納税貯蓄組合連合会総会、
東北電力若松支店長来庁、阿賀川河川事務所長来庁
- 16日 明和自治振興会定例代議員会、第35回交流謡会
- 17日 只見町超小型モビリティお披露目式
「ねっか米焼酎」のお披露目会

- 18日 会津・野岩鉄道利用促進協議会総会
会津総合開発協議会南会津地方部会・総会、
あいづふるさと市町村圏協議会総会、
会津地域世界農業遺産推進会議(会津若松市)
- 19日 JR只見線の鉄道復旧等に関する国土交通大臣への要望活動(東京)
- 20日 東北農政局参事官来庁
- 21日 東武鉄道新型特急リパティ会津田島駅乗り入れ記念式典及び一番列車お出迎え、福島県知事との意見交換会、臨時庁議
- 23日 只見振興センター開所式
- 24日 山口土木事務所長来庁、自衛官募集相談員委嘱状交付式
- 25日 只見町野生動物保護監視員委嘱状交付式
特別功労者 故目黒正栄氏告別式、町政報告会
- 27日 八十里越道路暫定的活用検討懇談会、
各施設見学(~28日 三条市)
- 30日 只見町消防団春季消防検閲式

町民の消息

(3月26日～4月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

菅家 ^{あした}新 (男/ 忠・亜紀) 黒谷
 横山 ^{あおい}蒼 (男/ 祐・明日香) 只見
 長谷川 ^{くるは}来春 (女/ 佑樹・千晶) 寄岩

■ご結婚おめでとうございます

大倉 梁取 武♡蓮沼 沙希 会若松
 福島市 川合祥太郎♡目黒 愛華 福井

■おくやみ申し上げます

目黒 英	80歳	大倉 倉
目黒 敏彦	84歳	只見 見
山内 章一	99歳	梁取 取
菅家 作弥	95歳	長浜 浜
渡部 初江	78歳	小川 川
平野 卜シ	98歳	長浜 浜
目黒 正榮	95歳	坂田 田

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年4月1日現在

人口 4,308 (-54)
 男 2,111 (-27)
 女 2,197 (-27)
 世帯数 1,786 (-16)
 高齢化率 45.54%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 29 転出 77 出生 4 死亡 10

あとがき

▽4月17日に、合同会社ねっかの米焼酎「ねっか」が販売開始となり、私もその日に購入。ねっかの方々から聞いた「ロックで飲むのがオススメ」という飲み方でいただきました。小さなコップに氷を2〜3個入れ、半分ぐらい注いでグイッ。「飲みやすい!」。口の中で香りが広がり、日本酒のような感覚で飲むことができました。「泉太のどぶろく」や「岩泉」といった酒に続き、焼酎という新たなジャンルが加わり、只見町の旨い酒を多くの人に味わって欲しいと感じました。

(三瓶)

生涯学習推進員
浅野リサ

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★しんせかい



山下澄人/著(新潮社)

19歳の山下スミトは演劇塾で学ぶため、船に乗って北を目指す。辿り着いた先の【谷】では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた。苛酷な肉体労働、【先生】との軋轢、地元の女性と同期の間で揺れ動く感情――。

思い出すことの痛みと向きあい書かれた表題作のほか、入塾試験前夜の不穏な内面を映し出す短篇を取録。

文学界の異端者が描く、自らの原点!第156回芥川賞受賞作。

★不機嫌な長男・長女無責任な末っ子たち



五百田達成/著(ディスカヴァー)

「きょうだい型」で、本当の自分が見えてくる!あらゆる人間関係に役立つ!

思わず「あるある」と言ってしまうエピソードに加え、それぞれのタイプを動かすためのひとことフレーズ、相性チェック表など、仕事、恋愛、結婚、友人……あらゆる人間関係に役立つコンテンツ満載の一冊となっています。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

日本海要素植物 イワナシ (学名: *Epigaea asiatica*)

[ツツジ科 イワナシ属]



▲地面に張り付くように生えるイワナシ

今年の要害山の山開きは5月14日(日)です。スキー場からの日の当たる登山道を上り、疲れて足元に目を落とすと、地面に張り付くように広がる濃緑色で楕円形のゴワゴワした葉を見つけることがあります。よく見ると葉の陰に釣鐘型のピンク色の花が咲いています。この植物はイワナシと言います。

イワナシは、北海道西南部と本州の主に日本海側に生育する日本海要素植物※です。近畿地方では太平洋側にも分布しています。トガクシソウ型日本海要素植物と言われる、日本列島の一部に古くから生育し、日本海側の深雪に守られることで生き残った植物の一種と考えられています。冬でも落葉しない常緑の低木で、山地の斜面に多く生育しています。要害山のような明るい斜面だけでなく、尾根沿いなど岩場の樹陰に生えることもあります。茎は、斜めに伸び、2~10cm程度の大きさにしかありません。花期は4月~6月で、3~10個の花をつけます。果肉は白くて甘く、ナシに似た味がすることからこの名前がついたと言われています。只見町でも熟した実が食べられており、「いわもも」と呼ばれています。

(※日本海要素植物については、広報ただみ2017年3月号、4月号の森の四季もご覧ください)

企画展示

「多雪地帯に生きる 日本海要素植物」

期 間：7月17日(月) まで開催

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください